



1年を振り返って 中尾日歯常務に聞く

昨年4月に、日歯第2次大久保執行部が誕生した。兵歯からは、中尾副会長が常務理事として出務している。広報委員会では、中尾副会長に、本年度の会務を振り返っていただいた。

—: まず大久保執行部ではどのような部署を担当されておられるのですか。

中尾: 医療管理・税務担当常務理事として次の委員会を担当しています。(1)医療管理委員会(2)医療安全委員会(医事紛争に関わる諸問題・院内感染予防に関わる感染症対策)(3)税務委員会(4)新型インフルエンザ WT(5)日本歯科医師会青色申告全国連合専務理事(6)各種部外審議会(7)厚労省など行政との交渉などです。

—: 多くの委員会を担当なさっていますね。特に印象に残っている会務にはどのようなものがありますか。

中尾: ひとつひとつ歯科医師にとって重要な課題だと考え、いろいろ勉強させていただきながら取り組んでいます。新型インフルエンザ WT では、その対応に苦慮いたしましたが、会員への正確な情報伝達により混乱回避に努めました。これ以外では歯科技工士全国統一試験要望書を技工士会、全国技工士学校連絡協議会との3者連名で厚労省に提出しました。また、技工士、衛生士の職業案内の携帯サイトでの配信を予定しています(全衛協、全技協)。都道府県歯会全国ブロック連絡協議会出席(7ブロック)で各地の状況が理解できてきました。次年度はそれらの課題の解決に積極的に取り組んで参ります。

—: 課題が多いなか、会務遂行の中で特に苦労されていることは？

中尾: 担当部署が多岐にわたり、また、全国ブロックの各種連絡協議会の出席など守備範囲が広いことです。多くの都道府県に出張しました。その中でも特に重要なものは、事業税非課税の問題、租税特別措置法存続問題があると思います。幸い、来年度の継続は決定されましたが、今後も存続のために粘り強い交渉を続けることが必要な問題です。

—: 日歯常務として日歯の中から見てこられて、日歯が今やらなければいけないことは、どのようなことでしょうか。

中尾: やはり国民目線での歯科認知の向上が一番です。口腔の健康を守ることの大切さを広く伝えていくことは重要な課題だと考えています。

—: 逆に、兵歯をはじめ各都道府県歯会の活動に感じられたことは？

中尾: それぞれの地区によって共通認識の違い、温度差があります。三層構造(日歯、都道府県歯会、郡市区歯会)の中でそれぞれの役割に応じた取組みや活動をし、その上で3者横並びの連携強化をしっかりとることが大切だと思います。力をひとつにして、行政や国民に伝えるのが日歯の役目だと考えています。

—: 最後に、多忙な毎日を送っている先生の健康管理、体調管理の秘訣はありますか。

中尾: 特に何もしておりませんが、強いてあげればその場その場で気持ちをうまく切り替えることでしょうか。

—: 今日はお忙しいところをありがとうございました。大変なお仕事だと思いますが、今後のご活躍をお祈りいたします。



前の記事へ ◀ ▶ 次の記事へ

HDA ネットマガジン
TOPへ

兵歯広報
TOPへ